

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

戸田工業株式会社 大竹事業所

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市明治新開1-4

(3) 業種

無機顔料製造業 1622

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成12(2000)年度を基準年度とし、2019年度から2022年度までの4年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は環境保全を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけ、資源・環境問題に対する管理システムを維持継続し、地域および地球環境の保全に貢献します。とりわけ地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を採用される消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 方針

- 環境にやさしい製品・環境保護に貢献する製品を提供する。
- 省エネルギー・省資源を推進する。
- 廃棄物の発生抑制、リサイクルを推進する。
- 汚染の予防に努める。
- グリーン調達を推進する。
- 構成員に対する教育訓練を行い環境意識を向上させる。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成12(2000)年度	平成30(2018)年度
二酸化炭素	14,773.00	25,745.85

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成12(2000)年度	平成30(2018)年度
二酸化炭素	1.50	0.00

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成12(2000)年度	平成30(2018)年度
メタン	6.90	19.05
一酸化二窒素	13.80	21.64
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF6 NF3 )	0.00	0.00

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量		-			0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

売上額(G¥/年)

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位置 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成12(2000)年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和4(2022)年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	14,773	3.51	4208.83	36.7	26,656	10	2665.59
非エネルギー起源CO2	2	3.51	0.43	100.0	0	10	0.00
メタン	7	3.51	1.966	3.4	19	10	1.900
一酸化二窒素	14	3.51	3.93	46.6	21	10	2.10
その他 温室効果ガス	0	3.51	0.00	0.0	0	10	0.00
総排出量	14,795	3.51	4215.16	36.7	26,696	10	2669.59
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	1,756	44.2	-	-	980.00
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2排出量の売上ベースでの原単位を、 基準年度から36.67%の削減とする。						

※ 削減率 (d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料原単位の改善	LPG・灯油の原単位を30%改善	生産性向上 蒸気漏れの防止 蒸気トラップの改良 熱交換器の洗浄 熱設備の保温強化 廃熱の有効利用
2	電気原単位の改善	使用電力原単位を30%改善	生産性向上 待機電力の低減 圧縮エアの漏れ防止 空調設定温度の見直し 冬季空調設備の運転方法適正化 建屋屋根散水による冷却
3	メタン及び一酸化二窒素排出量の削減	CH <sub>4</sub> , N <sub>2</sub> O排出原単位30%改善	電気炉、焙焼炉の生産性向上
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

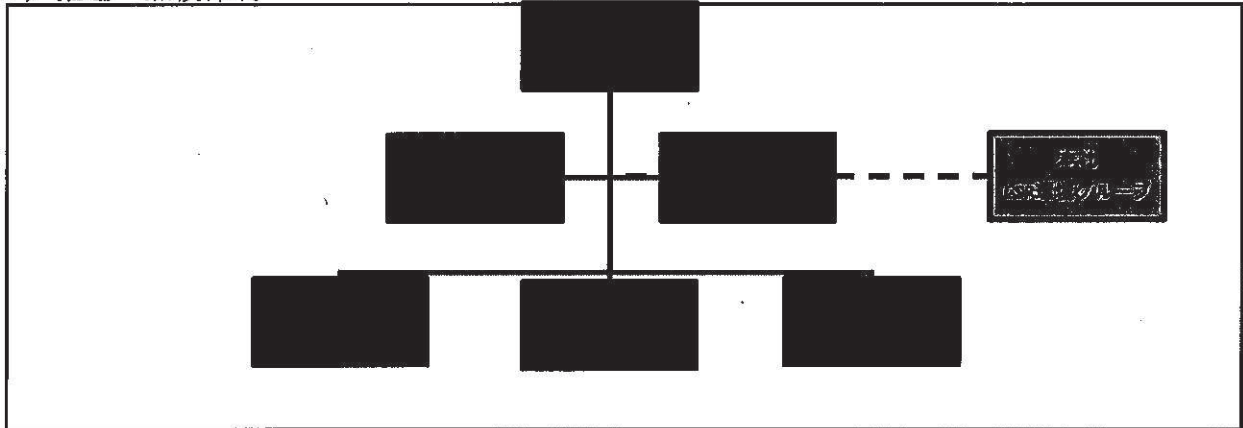
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物埋立量の削減	ゼロエミッションの継続	リサイクル率アップ 廃棄物の発生抑制活動
2	社会奉仕活動		毎月の事業所周辺清掃活動
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

環境委員会を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検および問題点の検討を行い、計画・実施・点検・見直しを繰り返すことにより継続的に改善する。

### (3) 計画書等の公表

戸田工業㈱のホームページ(<http://www.todakogyo.co.jp/>)で、閲覧を可能にいたします。